

護憲市民会議

末永康文

●放射能対策

問 我孫子に持って行った10万ベクレル近い放射能を持ち帰るとなっているが、最終処分場に仮置きされた放射能も早急に撤去していただきたいが、どうか。

答 最終処分場には、約76トンあり、最終処分場の地元の住民の方には大変御心配をおかけしている。御心配を少しでも減らすための対策を講じていく。

●市立病院移転問題

問 移転問題をいつ、どこで、誰と決めたのか。

答 2つの候補地が示されており、その決定について、市長の私が判断をして表明した。

問 市長の判断で決めるのはいいかがなものか。地元住民の大方

政和会

坂巻重男

●市立柏病院建てかえ

問 過去3回の説明会でほとんどの方が現地建てかえで意見を述べているがどう捉えているか。

答 移転と考えるに至った経緯や今後のあり方等について御理解いただけるよう努力していく。

問 移転は地域格差を生じると考えるが。

答 建てかえ後の市立病院は特に小児医療や感染症対策などに取り組む。医師確保や立地環境等を考慮し移転を示した。現地は診療所機能を継続し、医療の地域格差が生じないよう努める。

問 建てかえは建築費が安定する

の合意を受けて行うべきだ。
答 引き続き丁寧な説明をした中で建設を進めていきたい。

問 県の土地を24億円で買うのは税金の無駄遣いだ。しかも24億円は投資だと言っている。失敗したら誰が責任をとるのか。

答 収益性を確保するのは難しいと言われる部分を今回抱えていくということなので民間基準で言うと赤字になると思う。

問 県有地1万5000㎡を県は売ると言ったのか。

答 まだ正式には話し合いをしていない。

問 県は売るとも分割するとも

言っていない。他人の土地に移転するというのはおかしくないか。現地を見た専門家は十分建てかえができると思うがどうか。

答 はみんぐ裏の敷地や既存の建物を壊してつくるなど専門家のアドバイスを等々をいたした中で、ローリング方式に関し

るであろうオリンピック後でも遅くはないのでは。

答 施設が老朽化、狭隘化し、耐震に課題がある。建てかえ時期は地域のニーズも高く喫緊の課題である小児の二次救急の実現もあわせ、できるだけ早期に実現したい。しかしながら、建築単価は上昇傾向と認識している。建築単価の動向を注視し、可能な限り、シンプルかつ機能的な設計とし、建築単価を下げる工夫を検討する。

●指定廃棄物保管

問 仮保管に期限を切ってほしいかがか。

答 3年間できちんと環境省から期限を引き出せるよう、かつその引き出した期限が実行できるような必死に仕事をしていく。

●学校のトイレ改修のスピード

で算定したが、最終的には移転建てかえを提案したい。

本池奈美枝

●柏市立病院の移転問題

問 移転用地費24億円の税金を使うべきでない。現地で建てかえれば済む。27年度予算に影響はないのか。この費用は将来に對する投資とのこと。つまり子ども世代の借金となる。なぜそこまでして移転するのか、理由は。さらに医療のバランスはどうなるのか。全市民への十分な説明もせず3力所での説明会で出された意見を聞くだけで移転勢では議論にならないのでは。

●放射能対策

問 ホールボデイカウンターの助成を27年度も求める。また甲状腺等子供の健康調査への補助も実施すべきではないか。松戸市は実施済みである。

答 前者については実施する。後者については考えていない。

センターの裏手に移すのか。外来患者数の見込みでぼろが出てきたから説明方針を変えたのか。

答 安定した経営基盤を確立するためには入院診療に、より重きを置く必要がある。これまでの経営構造を見直すとともに、急性期の二次病院として専門的な医療を提供する。

●道徳の教科化

問 平成30年から道徳が教科化されるが、心を病んでいる現代日本の少年少女が、道徳教育程度のもので人生を生きていくことに積極的な意義を見出せるか。柏市社会福祉協議会が募集した「福祉の心」標語に、柏第三小学校6年Y君の「軽くない全ての命意味がある」があった。Y君が言うとおり、人が生きることには深い意味がある。ゆえに人

が生きるといふ核心的姿は無条件に肯定する必要がある。人の生きる意味を考える教育を欠いては、道徳教育は意味をなさないのでないか。

答 道徳教育が秋葉原事件のような極限状態の青年、JK産業に身を落としている子供たちの心の救いになるか、または防げるかという観点で見ると難しいと思う。議員御指摘のとおり牧師や宗教家のほうが心の救いとしては適切なものかもしれない。

市民サイド

宮田清子

●市立柏病院の建てかえ

問 市民に説明会も行わずに、現地で建てかえるか、移転して建てかえるかを、決定しようとしたやり方に問題はなかったか。

答 今後とも丁寧な説明し、理解していただけるよう努める。

問 事前に説明会を行うべきだったのでは。

答 節目節目で説明し、理解を賜ろうと思った。

●市行政経営方針には、施策の推進に当たっては、市民と対話を行い、ニーズを把握し、行政運営に反映するとあるが、矛盾しないか。

答 市民からの意見を検討し、改めて提示するようにしたい。

問 25年度につくった市立柏病院整備基本方針が周知されていないのではという質問に、会議録を公開しているの、理解されていると思う。関心のある人は見ているなどと答弁しているが、行政運営方針には政策形成から実施まで、各段階で、市民の知りたい情報をわかりやすく

提供していくとある。矛盾しないか。

答 今後努力をしていきたい。

問 27年度までの総合計画には市立柏病院が地域医療の充実に果たすべく役割を検討する、基本方針を策定するとしか書かれていない。新病院を建設する計画はないかがか。

答 解釈として含まれている。

●二次医療の地域性

問 同規模の公立病院と比べる

答 同規模の公立病院と比べる

問 待つ時間をふやして患者を来なくさせるとは非常にひどい話だ。外来患者の総数は変わらないと見込むのか。

答 現患者にとつて、一次医療、二次医療がセットで存在することは安心面で大きい。ただ、二次医療は、東葛北部医療圏が二次医療圏だと考える。

問 こういうときには広域だといふ話をするが、二次病院も高い地域性を帯びる存在だ。柏の葉でも入院する患者は3km圏を想定しているのではないか。

答 外来患者数やその算定方法は現在の経営をベースにしたもので、今後、数値は変わる。

松本寛道

●市立病院の外来診療

問 中期構想における市立病院の医療機能の説明と現状の市長の説明が違ってきている。最近では外来診療を大きく減らし機能を絞り込むことが強調されているが、何がどう変わるのか。

答 診療科目としては現在の16科目を継続する。特色として専門性を高める。

問 どのように外来患者を減らすのか。外来患者を減らすとい

うのは、断るといふことか。

答 今はたくさんブースを設置して待ち時間を減らす努力をしているが、新しい病院はブースを減らす。結果的に拒否してはいないが、待つ時間が長くなるということ、待つのであれば他の診療所を選ぶという患者の選択がふえると思う。

問 待つ時間をふやして患者を来なくさせるとは非常にひどい話だ。外来患者の総数は変わらないと見込むのか。

答 同規模の公立病院と比べる

多く、減る可能性が大きい。

問 市長は地域医療を守ると明言してきたが、外来、入院を含めて守るべきではないか。

答 現患者にとつて、一次医療、二次医療がセットで存在することは安心面で大きい。ただ、二次医療は、東葛北部医療圏が二次医療圏だと考える。

問 こういうときには広域だといふ話をするが、二次病院も高い地域性を帯びる存在だ。柏の葉でも入院する患者は3km圏を想定しているのではないか。

答 外来患者数やその算定方法は現在の経営をベースにしたもので、今後、数値は変わる。

問 どのよう

が生きるといふ核心的姿は無条件に肯定する必要がある。人の生きる意味を考える教育を欠いては、道徳教育は意味をなさないのでないか。

答 道徳教育が秋葉原事件のような極限状態の青年、JK産業に身を落としている子供たちの心の救いになるか、または防げるかという観点で見ると難しいと思う。議員御指摘のとおり牧師や宗教家のほうが心の救いとしては適切なものかもしれない。

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

●請願 本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員（市議会議員）の署名が記名押印が必要。

●陳情 全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要。

●提出方法 任意の用紙に代表者の住所・氏名（ふりがな）・電話番号を記入し、押印の上、件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載して議会事務局へ直接お持ちください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。

※署名簿は、原則各自が住所・氏名を自署。

※随時受け付けておりますが、請願は、定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。